

第23回研究大会2024. 6. 22・23大会長を囲んで！  
～「生活」と「医療」の視点を踏まえたケアマネジメントを行うための、主治医との連携や入退院時の情報連携の在り方について～

# IPE(専門職連携教育), # IPW(専門職連携実践), # 生活機能サマリーを活用した情報連携,  
# 令和6年度介護報酬・診療報酬同時改定の方向性

柴山 志穂美 氏 Zoom Live オンライン配信

日本ケアマネジメント学会 理事  
神奈川県立保健福祉大学 実践教育センター 地域ケア教育部長

大会長は、2000年に、「電卓片手に利用票、提供票を手書きしていました!!」

○「適切なケアマネジメント手法」の考え方の位置付け ○ 高齢者の権利擁護・意思決定支援に関する内容の充実 ○ 地域共生社会の実現に関する内容の充実（「介護支援専門員資質向上事業ガイドライン」の発出について—令和5年4月17日、厚生労働省老健局 事務連絡）は、来年度の法定研修に盛り込まれることになりました。  
一方の現場では、「ケアマネが足りない」「人が辞めていく」という声は切実です。私たちが辞めなくても済むワークライフバランスの構築と、視点の持ち方が変わる価値を創出しながら、社会の変化に適応するための新たなスキルをこれまでの専門性に加えて獲得していくことが求められています。  
2024年6月、第23回研究大会は「変化する社会における次世代のケアマネジメントを考える～持続可能なアプローチとイノベーションの模索～」がテーマです。関東認定ケアマネジャーの会では2024年1月、大会プレ企画として大会長の柴山志穂美 氏をお招きし、一足早くこのテーマを深掘りして参ります。  
“一期生” だった大会長は、地域でケアマネ連絡会の会長を歴任し、厚生労働省の各委員会への参画、学会理事へと、ケアマネジメントを担う実践者として肌感覚で現場を理解される方のお一人です。

令和6年

1 月 20 日 (土)

13時00分 ~ 16時30分

(受付12時30分～)

第1部 研修会 13時10分～ 15時40分 (休憩)

第2部 フリーセッション意見交換会「大会長に何でも聞いてみよう!!」

参加費 : 無料。オンライン開催です。認定ケアマネジャー資格更新実績点数の対象外となります。

参加対象 : 認定ケアマネジャーの会会員のみ 100名 (関東地方以外の方も大歓迎です！)

申込方法 : 日本ケアマネジメント学会ホームページ研修会一覧から

※ 申込み受付後返信メールに資料ダウンロードパスワードとZoomのIDとパスワードを返信します。

締切 : 令和6年1月15日 (月) 資料ダウンロード開始1月15日 (月) 正午から。

講師 : 柴山 志穂美 氏 日本ケアマネジメント学会 理事

公立大学法人 神奈川県立保健福祉大学 実践教育センター 地域ケア教育部長・保健福祉学部 准教授

【最終学歴・学位】 国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科医療福祉経営専攻修士課程修了・医療福祉学修士

【専門分野】 在宅看護、ケアマネジメント、多職種連携、入退院支援

【担当科目】 教員・教育担当者養成課程介護コース(社会福祉学)

認定看護管理者教育課程セカンドレベル(ヘルスケアシステム論)

【研究テーマ】 生活機能サマリーを活用した多職種協働による入退院支援ガイド

ラインの開発。 入退院支援、多職種連携に関する研究

医療および介護レセプトデータ分析による在宅医療・介護連携推進のための適正な評価指標等の提案のための研究



